

財政状況等一覧表（平成20年度決算）

(単位:百万円)

団体名 日置市

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
5,407	8,181	634	14,222

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	23,193	22,686	506	462	190	33,941	
飲料水供給施設特別会計	1	1	0	0	0	0	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	5	5	0	0	0	23	
一般会計等	23,198	22,692	506	462		33,964	

「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足 額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方 債)現在高	左のうち一般会計 等繰入見込額	備考
水道事業会計	719	689	31	812	178	2,120	816	法適用
国民健康保険病院事業会計	295	343	48	139	20	0	0	法適用
国民健康保険特別会計	6,606	6,271	335	335	376	0	0	
老人保健医療特別会計	816	816	0	0	89	0	0	
特別養護老人ホーム事業特別会計	320	299	21	21	0	21	0	
公共下水道事業特別会計	719	686	33	33	183	2,828	1,151	
農業集落排水事業特別会計	41	39	1	1	27	438	318	
国民宿舎事業特別会計	241	237	4	4	0	0	0	
国民保養センター及び老人保健ホーム事業特別会計	9	9	0	0	5	0	0	
温泉給湯事業特別会計	8	5	3	3	1	0	0	
公衆浴場事業特別会計	3	2	1	1	0	0	0	
介護保険特別会計	4,271	4,171	100	100	592	0	0	
後期高齢者医療事業特別会計	554	553	2	2	186	0	0	
診療所特別会計	31	31	0	0	0	31	0	
公営企業会計等 計				1,453		5,437	2,285	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づき(ものであり、資金不足額がある場合には負数(-)で表示している。
4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足 額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方 債)現在高	左のうち一般会計 等負担見込額	備考
鹿児島県市町村総合事務組合	16,811	16,666	145	145	1	0	0	
いちき串木野市 日置市衛生処理組合	503	481	22	22	18	518	90	
南薩地区衛生管理組合	2,084	1,993	91	91	0	1,649	0	
鹿児島県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	108	102	6	6	0	0	0	
鹿児島県後期高齢者医療広域連合(特別会計)	206,168	201,919	4,249	2,986	-	-	-	
一部事務組合等 計				3,250		2,167	90	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体から の出資金	当該団体から の補助金	当該団体から の貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
日置市農業公社	0	65	8	10	0	0	0	0	
日置市土地開発公社	1	582	5	0	0	570	0	0	
地方公社・第三セクター等 計			13	10	0	570	0	0	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	2,669	3,050	381
減価基金	260	270	10
その他充当可能基金	1,242	1,447	204
充当可能基金 計	4,171	4,767	595

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	4.46	3.24	1.22	12.84	20.00	水道事業会計	-	-	-
連結実質赤字比率	14.07	13.46	0.61	17.84	40.00	国民健康保険病院事業会計	-	-	-
実質公債費比率	16.4	15.3	1.1	25.0	35.0	公共下水道事業特別会計	-	-	-
将来負担比率	102.5	84.2	18.3	350.0		農業集落排水事業特別会計	-	-	-
財政力指数	0.40	0.40	0.0			国民宿舎事業特別会計	-	-	-
経常収支比率	96.4	93.6	2.8			国民保養センター及び老人保健ホーム事業特別会計	-	-	-
						温泉給湯事業特別会計	-	-	-
						公衆浴場事業特別会計	-	-	-

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(-)で表示している。
2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。
4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成20年度決算における基準である。